

地方創生関係交付金等の効果検証について（説明資料）

1. 地方創生推進交付金及び地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の趣旨

地方創生推進交付金は、「地方版総合戦略」に位置付けられた自主的・主体的で先駆的な事業円滑な実施を支援することを目的としています。本市では、令和元年度において、地方創生推進交付金を活用した事業（以下「交付金事業」という。）として3事業を実施しました。

地方創生応援税制は、地方創生の取組を更に加速させていくため、地方公共団体が行う地方創生事業に対して法人からの寄附を促す制度です。本市では、令和元年度において、3事業について寄附を募集しました。

2. 効果検証の目的

交付金事業を実施する地方公共団体は、地方創生推進交付金制度要綱第11「効果の検証」の規定により、事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI ※1））を設定し、その達成度について毎年度検証が必要とされており、効果検証では、学識経験者等の第三者に意見を求めるよう努めることとされています。また、地方創生応援税制を活用した事業についても、同様の効果検証が必要とされています。本市においては、交付金事業3件、地方創生応援税制を活用した事業3件が効果検証の対象となることから、第1回たかまつ創生総合戦略推進懇談会において効果を検証します。

※1 KPI : Key Performance Indicatorの略称。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標。

3. 効果検証について

委員の方から事前にいただいた意見や質問などを参考に、交付対象事業が総合戦略のKPI達成に有効であったかなどを協議し、懇談会としての効果検証を行います。

4. 事前送付資料について

□別添1-2、1-3

効果検証用の参考資料です。**懇談会当日に御持参ください。**

なお、別添1-2の補足資料を添付しています。地方創生関連交付金に関する効果検証を行う際に、補足事項も御参考にしてください。

地方創生関連交付金 効果検証用資料										別添 1 - 2								
No	交付金の区分	交付対象事業の 名称	事業の概要：目的 事業の概要：交付金を充てる 経費内容	交付額 (千円)	交付対象 事業費 (千円)	予算 区分	事業 期間 年月	事業 期間 年月	本交付金事業における重要業績評価指標（KPI）				総合戦略の関連項目					
									指標	指標値 (A) ※目標年月 (C) における 目標値	実績値 (B)	目標 年月 (C)	達成度 (B/A)	■総合戦略 数値ベース・指標番号 具体的な施策 【指標の説明】	当初値 H26年度 実績	H27年度 実績	現状値 H28年度 実績	目標値 H31年度
1	促進化交付金	まちなか アートで繋ぐ 地方創生推進事業 【別添1-2 補足資料P1～2 参照】	アートによる集客イベントを実施することで、芸術 界に訪れる観光客はもとより、市民に対して、商 店街の新たな魅力と活力を発信し、商店街の 賑わい・集客を促進していくものであり、さらに、 観光客の満足度向上と移住・定住促進に寄 与するものである。また、文化芸術などの持つ 創造性を活かしながら、各種イベントに働きをわ けることにより、新たな観光資源として認知さ れ、観光客だけでなく、子どもから大人、高齢 者、そして、障がい者まで広く地域住民の参 画・交流を促すことにより、「一億総活躍社会」 の実現と地域住民の絆の強化・深化を図り、 地方創生の推進につなげていくものである。	30,524	30,524	H27 (補正)	H28.3	H29.3	地域に出向いての文 化芸術活動（アット リサーチ事業）の参加 回数 (人)	68,000	103,549	H29.3	152.3	12 1-2-① 文化芸術活動の推進 (人)	67,757	98,480	103,549	75,000
									中央商店街の空き 店舗率 (%)	17	17.7	H29.3	104.3	19 1-1-① 中央商店街の活性化 (%)	17.2	17	17.7	14.9
									中央商店街歩行者 通行量 (人)	120,000	130,566	H29.3	108.8	35 5-5-③ ムリ～な情報発信に よる促進策 (人)	118,731	128,857	130,566	141,000
									高松市移住ナビ （ホームページ）開 覧件数	10,000	7,491	H29.3	74.9	18 2-2-① 移住を促進する地域の推 進 (人)	9,629	4,797	7,491	13,000

今回の懇談会（第1回たかまつ創生総合戦略推進懇談会）で、効果検証の対象となる事業（地方創生関連交付金等で実施した事業）の一覧が確認できます。

総合戦略の重要業績評価指標(KPI)が確認できます。

今回の懇談会（第1回たかまつ創生総合戦略推進懇談会）で、効果検証の対象となる事業（地方創生関連交付金等で実施した事業）の一覧が確認できます。

総合戦略の重要業績評価指標(KPI)が確認できます。

□別添 1-4

効果検証対象事業に対する御意見・御質問がある場合は、下記内容を御記入のうえ御提出ください。

地方創生関係交付金等 回答表				別添 1-4	
・別添 1-2、1-3 を御確認いただき、内容等について御意見・御質問がある場合は、下記に記載し御提出ください。↓ ・提出期限：8月24日（月）まで↓ ・提出方法：高松市政策課へ FAX（087-839-2125）又は電子メール（seisaku@city.takamatsu.lg.jp）で御回答願います。↓ ※報告様式（ワード形式）のデータが必要な場合は、高松市政策課（TEL:087-839-2135）へその旨御連絡ください。↓ ・誠に勝手ではございますが、24日正午までにご連絡のない場合は、意見無しとさせていただきます。↓ ・お寄せいただいた質問は、懇談会当日に回答いたします。↓					
				委員名	様
交付金等の区分		No	懇談会委員（外部評価者）の交付対象事業への意見・質問欄		
			名称	区分	意見・質問
推進交付金	1.		「たかまつ移住応援隊」を軸とした事業展開による移住促進事業	☐ 有効と考えた理由 ☐ 有効と考えなかった理由 ☐ 質問	→ → →

効果検証対象事業への御意見がある場合、下記の要領で御記入ください。

- ① 交付対象事業が総合戦略の KPI 達成に有効であったと考える場合
→ 区分欄の「有効と考えた理由」をチェックし、評価した点などを御記入ください。
- ② 交付対象事業は総合戦略の KPI 達成に有効と考えなかった場合
→ 区分欄の「有効と考えなかった理由」をチェックし、良くなかった点、原因、改善策などを御記入ください。

別添 1 - 2 (推進交付金)

交付金の区分	No	交付対象事業の名称	事業の概要：目的	事業の概要：交付金を充当する経費内容	交付額 (千円)	交付対象 事業費 (千円)	予算 区分	事業 始期 年月	事業 終期 年月	本交付金事業における重要業績評価指標（KPI）					総合戦略の関連項目						
										指標	指標値 (A) ※目標年月 (C) にお ける目標値	実績値 (B) R元年度	目標 年月 (C)	達成度 (B/A)	■総合戦略 登録ページ・施策番号 具体的な施策 【指標の説明】	当初値 H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	現状値 R元年度 実績
推進交付金	1	「たかまつ移住応援隊」を軸とした事業展開による移住促進事業 【別添1-2-1補足資料】	「たかまつ移住応援隊」との連携による情報発信を始めとする各種活動を軸として、市民や企業とも連携し、各種相談会や就業・起業に関する支援、地域社会との関係づくりなどに取り組むことにより、多くの移住者を本市に呼び込むとともに、その移住者が定着し、活躍できる環境づくりを行う。 また、地域おこし協力隊の活動や移住者を対象とする家賃等補助事業を、本事業と連携させながら実施することにより、効果的かつ一体的に、本市への移住・定住促進を図るものとする。	1.「たかまつ移住応援隊」を軸とした、SNS等による情報発信、移住者との相談会、首都圏での移住相談会、移住体験ツアー等の実施 2.企業や経済団体等との連携による、就業・起業に関する情報発信や継続的な支援 3.地域団体等との連携による、移住者が地域社会に溶け込み活躍できるための継続的な支援	6,487	12,974	R元	H29.5	R2.3	「たかまつ移住応援隊」の関わる取組を利用したことのある移住世帯数増加分 (単位：世帯)	40	19	R2.3	48%	■P18 2-2-① 選ばれる地域づくりの推進 (件) 【高松市移住ナビ（ホームページ）閲覧件数】	9,629	4,797	7,491	5,144	35,735	29,039
										県外から本市への1年間の転入者数増加分 (単位：人)	400	219	R2.3	55%							
	2	「高松盆栽の郷」構想を中心とした盆栽と花き文化の振興対策 【別添1-2-2補足資料】	「高松盆栽の郷」基本構想に基づき、盆栽文化を国内外に普及・定着させ盆栽の振興を図るため、①国内需要の拡大、②輸出の拡大、③産地基盤の強化に加え、④「高松盆栽の郷」づくりによる地域のブランド化の確立に向けた総合的な支援を実施する。具体的には、地域が有する地域資源を活用し、産地を訪れる愛好者や観光客に盆栽の文化や歴史、魅力を伝えるため、盆栽園を巡るコースの散策や体験、研修などの取組みを行うとともに、ビジターセンターの機能を有する拠点施設の整備を行う。基本構想の実現を図るため、また、将来的な自立運営を見据え、生産者との連携により、人格を持った法人を設立し、運営体制を整備するとともに、産地をコーディネートできる人材を育成する。	1.国内需要の拡大 2.輸出の拡大 3.産地基盤の強化 4.「高松盆栽の郷」づくり（拠点施設「高松盆栽の郷」及び研修施設「（株）盆栽の匠」の）整備	38,934	130,293	R元	H29.5	R4.3	盆栽輸出本数増加分 (単位：本)	100	4,596	R2.3	4596%	P11 1-1-⑥ 特産品の育成・振興 (人) 【販路開拓事業等来場者数】	17,600	38,016	19,421	19,391	18,832	1,736
										盆栽を生産する認定農業者数増加分 (単位：人)	1	0	R2.3	0%							
										盆栽販売額増加分 (単位：千円)	2,560	-1,575	R2.3	-62%							
	3	共生社会ホストタウン登録を契機としたユニバーサルデザインのまちづくり推進事業 【別添1-2-3補足資料】	東京オリンピック・パラリンピックに向け、国が新設した、共生社会ホストタウンへの登録を契機として、ユニバーサルデザインマップ及び啓発グッズを活用して、ユニバーサルデザインのまちづくりの更なる推進を図る。	1.ユニバーサルデザインマップの運用 2.ユニバーサルデザイン啓発事業 3.ユニバーサルデザイン啓発映像の活用 4.共生社会ホストタウン登録を契機とした、ソフト事業の実施	1,270	2,529	R元	H30.8	R3.3	ユニバーサルデザインマップの登録件数（件）	550	818	R2.3	149%	P28 4-1-② ユニバーサルデザインの普及・啓発 (人) 【小学生用パンフレット配布数】	9,500	13,784	18,282	22,514	26,769	31,680
										ユニバーサルデザイン啓発映像を活用した授業回数 (回)	136	38	R2.3	28%							
										小学生用パンフレット配布数 (人)	4,750	4,911	R2.3	103%							
										香川県の延宿泊者数（万人）	391	466	R2.3	119%							

地方創生応援税制関連 効果検証用資料

別添 1 - 3(地方創生応援税制)

区分	No	本制度を活用する事業	事業の概要：目的	事業内容	対象事業費 (千円)	寄附額 (千円)	予算 区分	事業 始期 年月	事業 終期 年月	本制度を活用する事業における重要業績評価指標（KPI）					総合戦略の関連項目						
										指標	指標値 (A) ※目標年月 (C) にお ける目標値	実績値 (B) R元	目標 年月 (C)	達成度 (B/A)	■総合戦略 登録ページ・施策番号 具体的な施策 【指標の説明】	当初値 H26年度 実績	H27年度 実績	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	R元年度 実績
（地方 企業 創 生 に 関 連 する 税 制 ）	1	こども未来館わくわく体験事業 【別添1-3-1補足資料】	こども未来館において、子どもを中心とした幅広い世代の人々の交流、子育てに係る支援並びに学習及び体験活動の場を提供し、子どもの夢や想像力を育むとともに、健やかな成長を資するものであり、子どもが健やかに生まれ育つ環境の充実を図り、子どもを生み育てやすいまちを創ることに、出生率の向上を目指し、人口減少に歯止めをかけることを目的とする。	・公募プログラム ・こども未来館まつり ・遊び体験プログラム	2,178	0	R元	H29.4	R.2.3	こども未来館来館者数 (人)	100,000	123,257	R2.3	123%	P20 3-1-② 健やかな成長を促す学びへの支援 (施設) 認定こども園数	1	3	5	9	17	19
										合計特殊出生率 (%)	1.68	1.67	R2.3	99%							
	2	サンポート高松トライアスロン大会開催事業 【別添1-3-2補足資料】	現在開催しているサンポート高松トライアスロン大会（一般参加）と合わせて、平成29年度から世界トップアスリートだけが参加するエリート部門を開催するものであり、トップレベルのスポーツを身近に観戦する機会を提供し、さらなる市民のスポーツに対する関心や興味を高め、スポーツに参加（する・見る・支える）する動機付けに繋げ、スポーツの振興を図るほか、多くの外国人選手、外国人観光客の受け入れ、交流人口の拡大を図り、創造性豊かで人間中心のまちを創ることに、人口減少を抑制することを目的とする。	サンポート高松トライアスロン大会開催事業	30,000	0	R元	H29.4	R.2.3	サンポート高松トライアスロン来場者数 (人)	30,000	44,200	R2.3	—	P15 1-4-① 観光資源の活用と創出 (%) 香川県への再来訪意向割合	48.2	17.9	34.3	35.5	28.9	25.5
										社会体育施設利用者数 (人)	2,591,000	1,984,830	R2.3	77%							
	3	高松産ごじまん品6次産業化等支援事業 【別添1-3-3補足資料】	本市農業の6次産業化や農商工連携を促進し、農産物の高付加価値化とブランド化を図るため、高松産ごじまん品の「新たな加工品やサービスの開発」に対して補助金を交付し、農業者等のチャレンジの実現をサポートするものであり、地域を支える産業の振興と経済の活性化を図り、創造性豊かで人間中心のまちを創ることに、人口減少に歯止めをかけることを目的とする。	ごじまん品等について、6次産業化又は農商工連携の取組みにより販売等を目的として、新たに加工品の開発・サービスの提供等を行う事業に対する補助	1,707	0	R元	H29.4	R.2.3	農産物販売額 (億円) (高松産ごじまん品主要7品目におけるJA取扱金額)	12.5	14.5	R2.3	116%	P11 1-1-⑤ 特産品の育成・振興 (人) 販路開拓事業等来場者数	17,600	38,016	19,421	19,391	18,832	1,736
										認定農業者数増加数 (経営体) ()内は全数	320	318	R2.3	99%							
										■P10 1-1-④ 生産体制の整備 (経営体) 【認定農業者数】					311	303	298	308	315	318	

交付金の 区分	No	懇談会委員（外部評価者）の交付対象事業への意見・質問欄					担当課	回答
		名称	区分	意見数	番号	意見・質問		
推進交付金	1	「 たかまつ移住応援隊 」を軸とした事業展開による移住促進	有効と考えた理由	3件	①	コロナ禍の下、移住ナビ閲覧数は一定数を維持しており、地道な活動を継続することが重要と考えます。	政策課	移住促進は息の長い取組でありますことから、今後も、移住希望者のニーズ把握に努めながら、本市の魅力発信など、長期的な移住者増につながる施策を、今後も継続的に取り組んでまいります。
					②	こういった試みを地道に続けることが重要であるとする。		（再掲） 移住促進は息の長い取組でありますことから、今後も、移住希望者のニーズ把握に努めながら、本市の魅力発信など、長期的な移住者増につながる施策を、今後も継続的に取り組んでまいります。
					③	遠方からの移住促進は簡単な事業ではないため、達成度が低くても仕方ないものと思われます。今後も地道な活動を継続していくことが求められます。特に今はコロナ騒ぎで地方への移住希望が増えていると言われているので、強力に推進していく絶好の機会だと思われます。 現在の取り組みは、潜在的な地方移住希望者人口の多い首都圏での活動が中心ですが、高松に対して親近感が高いと思われる関西圏での活動も重要かと思います。		新型コロナウイルスの感染拡大に伴うテレワークの広がりを契機に、若者を中心に地方移住の関心が高まっていることから、今後、首都圏や関西圏の若者世代を主なターゲットに、移住や就労に関する相談会など、移住促進施策を展開してまいりたいと考えております。
			有効と考えなかった理由	1件	④	達成度が低い。		各指標とも目標値を達成することはできなかったものの、移住者数・移住世帯数については、任意のアンケートによるものであるが、平成29年度が120世帯183人、30年度が208世帯290人、令和元年度が377世帯534人と順調に増加しており、移住・定住に向けた、これまでの取組の成果があらわれてきているとの存じます。
		質問		4件	⑤	両指数とも目標達成できていないが、その理由は？		御指摘いただきました指標につきましては、地域再生計画を提出するに当たり、国と相談しながら決定した経緯がございます。 理由といたしましては、本市の年間人口動態によりますと、平成29年が15,317人、30年が15,050人、令和元年が15,217人と、転入者数はほぼ横ばいで推移しているものの、大都市圏での雇用情勢が好調であるなどにより、転入者の増加に至っていないと考えられます。
					⑥	総体的な評価も必要だと思うが、近隣の県や市町村の状況はどうなっているのか？		近隣市町の3都市の特長的な移住促進の取組といたしましては、高知市は2拠点居住、徳島市はサテライトオフィスの誘致、西条市は起業支援に特化した施策を行っています。
					⑦	コロナ禍により、移住説明会、交流会の開催が困難となっている。このような状況下では、ITを活用した方策も有効であると思われる。従来よりSNS等での情報発信を行ってこられたが、今後新たなIT活用策があればご教示いただきたい。		（再掲） 新型コロナウイルスの感染拡大に伴うテレワークの広がりを契機に、若者を中心に地方移住の関心が高まっていることから、今後、首都圏や関西圏の若者世代を主なターゲットに、オンラインによる移住相談会や、テレワークを活用した移住促進施策を展開してまいりたいと考えております。
					⑧	指標設定に問題があり有効かどうか判断できない。 ①移住応援隊の関係する事業の有効性を見るには、移住世帯のうち移住応援隊関わった取組を利用したことがある世帯の割合を押さえるべきではないか ②移住促進事業全体の有効性を見るには、単純な転入者の増加ではなく、移住世帯数の増加を押さえるべきではないか		設定しております指標は、当事業を地方創生推進交付金事業として進めていくに当たって、本市創生総合戦略に「平成31年度に社会増1,000人」を基本目標の一つに掲げておりますことから、国や県と調整しながら最終的に定めたものでございます。

交付金の 区分	No	懇談会委員（外部評価者）の交付対象事業への意見・質問欄					担当課	回答
		名称	区分	意見数	番号	意見・質問		
推進交付金	2	「高松盆栽の郷」構想を中心とした盆栽と花き文化の振興対策	有効と考えた理由	1件	⑨	高松盆栽の認知度が上がってきており、有効であると思われる。今後も継続し、さらに認知度向上を図ってもらいたい。	農林水産課	引き続き、高松盆栽の認知度向上に努めてまいりたいと存じます。
			有効と考えなかった理由	1件	⑩	達成度が低い。		令和元年度には、JA香川県国分寺盆栽センターにおいて、盆栽の拠点施設である「高松盆栽の郷」を整備しており、整備期間中、当該施設において盆栽の販売スペースを縮小していたため、盆栽の販売額は低くなっているものです。
			質問	6件	⑪	盆栽輸出本数は増えているのに、販売額がマイナスなのはなぜ？		（再掲） 令和元年度には、JA香川県国分寺盆栽センターにおいて、盆栽の拠点施設である「高松盆栽の郷」を整備しており、整備期間中、当該施設において盆栽の販売スペースを縮小していたため、盆栽の販売額は低くなっているものです。
					⑫	これでどうやって国内需要や輸出を拡大するのか？PR資材はこれで良いのか？広告の効果は把握しているのか？		本年度は、令和元年度に整備した「高松盆栽の郷」を核としたPRを展開しているものです。HPへのアクセス数、インターネット販売の増加等の数値を注視してまいりたい。
					⑬	盆栽の郷の拠点整備がされる中で、販売額が減少している要因（おそらく輸出の減少と思われるが）と、今後の販売額増加に向けた対策の検討状況について、お教えいただきたい。		令和2年度からは、「高松盆栽の郷」がオープンし、販売額は増加しているものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、国外・県外からの来客が見込めない中で、販売は苦戦している状況です。本年度は、10月に「高松盆栽の郷フェスタ」の開催や、インターネット販売の強化などを予定しており、県外・国外における盆栽PRに努めてまいりたい。
					⑭	KPIで、盆栽輸出本数増加分は目標を大きく上回っているが、盆栽販売額増加分が目標を下回っているが、その理由をご教示いただきたい。		（再掲） 令和元年度には、JA香川県国分寺盆栽センターにおいて、盆栽の拠点施設である「高松盆栽の郷」を整備しており、整備期間中、当該施設において盆栽の販売スペースを縮小していたため、盆栽の販売額は低くなっているものです。
					⑮	指標設定に問題があり有効かどうか判断できない。 ①輸出本数が4500%と激増しているにもかかわらず、販売増加額がマイナス、達成率がマイナスになるというのは、そもそも設定指標自体に問題があることの証左ではないか ②基盤形成のための人材育成を見る指標として認定農業者数の増加という純粋なものもよいが、もう少し広い視野をもってすそ野を広げるという意味から、研究生や実習生などの人材を含めてもよいのではないか		（再掲） ①令和元年度には、JA香川県国分寺盆栽センターにおいて、盆栽の拠点施設である「高松盆栽の郷」の施設整備を行っていたことに伴い、整備期間中、盆栽の販売スペースを縮小する必要があったため、これにより盆栽の販売額は低くなっているものです。 ②指標設定につきましては、地域再生計画を提出するに当たり、国と相談しながら決定した経緯がございます。そのため、今後、国と協議を重ね、適切な指標設定について努めてまいりたいと存じます。
					⑯	国内需要も重要ですが、海外での盆栽ブームを考えると、海外輸出が非常に重要だと思われます。 指標では、盆栽輸出本数増加分が非常に高い伸びになっているにもかかわらず盆栽販売額増加分がマイナスになっているのは何故でしょうか。輸出分は単価が安いのでしょうか。		（再掲） 令和元年度には、JA香川県国分寺盆栽センターにおいて、盆栽の拠点施設である「高松盆栽の郷」を整備しており、整備期間中、当該施設において盆栽の販売ができなかったため盆栽の販売額は低くなっている。

交付金の 区分	No	懇談会委員（外部評価者）の交付対象事業への意見・質問欄					担当課	回答
		名称	区分	意見数	番号	意見・質問		
推進交付金	3	共生社会ホストタウン登録を契機としたユニバーサルデザインのまちづくり推進事業	有効と考えた理由	3件	⑰	バリアフリーの施設等が増加しており、ホストタウン登録について一定程度の効果があったと考える。他方、小学生向けの啓発パンフレットの効果との関係性は不明であり、意識付けとしての実際の授業回数の増加を期待したい。（R2年度は、コロナ禍で授業時間の確保が困難なことは理解できます。）	政策課	小学生を対象として配布しているパンフレットにつきましては、街中にある様々なユニバーサルデザインの紹介やクイズ的な要素を盛り込んだ内容とするなど、より分かりやすいものに見直しいたしました。今後、これらを活用した授業の内容や回数について、関係課と協議しながら、さらなる啓発に取り組んでまいりたいと存じます。 併せて、ユニバーサルデザイン啓発映像の授業での活用についても、同様に取り組んでまいりたいと存じます。
					⑱	このような取り組みを確実に実施することにより、選ばれる地域となると思われる。		
					⑲	ユニバーサルデザインマップづくりをはじめとした環境整備は、数字からみて、まずまず進んでいる。それらを活用した啓発事業については、今一つの感があり、今後に期待したい。		
		有効と考えなかった理由	1件	⑳	事業とKPIの関係がよく分からない。			<u>・ユニバーサルデザインマップの登録件数</u> 本事業により構築した、ユニバーサルデザインマップへの登録件数が増えることによって、本市のユニバーサルデザインに関する情報発信力を計測するものです。 <u>・ユニバーサルデザイン啓発映像を活用した授業数、及び小学生用パンフレット配布数</u> 共生社会やユニバーサルデザインのまちづくりについて、子どもたちへの啓発・普及の度合を計測するものです。 <u>・香川県の延べ宿泊数</u> ユニバーサルデザインのまちづくりの推進と情報発信により、来訪者の増加を計測するものです。来訪者の増加は、人の往来や本市での消費の増加にもつながり、まちの賑わいが創出されます。
		質問	1件	㉑	パンフレットの配布に意味はあるのか？（その先が大事だと思う。） ユニバーサルデザインと延宿泊者数とどのような関係があるのか。			（再掲） 小学生を対象として配布しているパンフレットにつきましては、街中にある様々なユニバーサルデザインの紹介やクイズ的な要素を盛り込んだ内容とするなど、より分かりやすいものに見直しいたしました。今後、これらを活用した授業の内容や回数について、関係課と協議しながら、さらなる啓発に取り組んでまいりたいと存じます。 併せて、ユニバーサルデザイン啓発映像の授業での活用についても、同様に取り組んでまいりたいと存じます。 また、延宿泊者数につきましては、ユニバーサルデザインのまちづくりの推進と情報発信により、来訪者の増加を計測するものでございまして、来訪者の増加によりまちの賑わいを創出するという関係性があると考えております。

交付金の 区分	No	懇談会委員（外部評価者）の交付対象事業への意見・質問欄					担当課	回答
		名称	区分	意見数	番号	意見・質問		
応援税制 （企業版ふるさと 納税）	1	こども未来館わくわく体験事業	有効と考えた理由	6件	㉔	出生率に大きな変化はないが、イベント等への来館者は増加しているように思える。	こども未来館	今後も子どもの夢や想像力を育むような魅力あるイベントプログラムを実施することにより、健やかな成長への支援に寄与できるよう取り組んでまいります。
					㉕	達成度が高い。		
					㉖	様々な催しが企画・用意されており、来館者数も目標値を上回っている。		
					㉗	こども未来館来館者数のKPIも目標を上回っており、今後も継続されることを期待する。		
					㉘	体験事業なので、子どもたちの多様な興味に応えられる多くの選択肢が用意されることが望ましい。そういう意味から、バラエティに富んだプログラムが用意されたことで来館者が増加したものと考えられる。ただ、もう少し厳密にみれば、公募プログラム、未来館まつり、遊び体験プログラムの参加者に限定した方が明確になったかもしれない。		
					㉙	また、最終目標としては出生率の向上を目指すこととし、合計出生率を指標としているが、これはさすがに数年の短期間で成果を期待できるものでもないように思われる。		
					㉚	子供が遊びながら学べる施設は、子供にとって非常に重要で、このような子育て環境の充実整備は出生率向上に資するものであり、また子育てしやすい町としての評判を高め、移住者の増加にもつながるものと期待されます。		
		有効と考えなかった理由		0件	㉛			
		質問		2件	㉜	どうやって広報しているのか？（チラシを見たことがない）		わくわく体験事業（公募プログラム・こども未来館まつり）については、ポスター・チラシを作成し、市内の小学校・保育所・幼稚園等をはじめ、総合センター・支所・出張所や出先機関に配布したり、広報高松への掲載やホームページ、SNS、健康福祉局LINEを活用して情報発信を行っております。また、地方紙のイベント情報に掲載されたり、その他にはフリーペーパーへの掲載や毎月のラジオ出演（天体の話）時にイベント告知するなど、広報に努めております。
					㉝	コロナ禍でイベントの開催が困難となっているが、新たな方策を検討されているのであれば、ご教示いただきたい。 出生率の目標を設定されているが、出生率ばかりに目が奪われると問題の本質を見誤ると考える。問題は、女性の増減数、特に子育て世代の女性の増減数であると思われるが、そういった目標を設定するお考えはあるか？ご教示頂きたい。 出生率より子育て世代の女性を増やすこと、女性が住みやすい街にすることが重要であると考えるが、どのようにお考えか？ご教示頂きたい。 出生率：１５～４９歳の女性は何人の子供を産んだか？分母の女性の数が減少すると出生率は上がる		コロナ禍で一部休館を余儀無くされてから、外出を控えている子どもなどに来館しなくても楽しんでもらえるよう、春の星座の探し方や楽しみ方を紹介する動画や幼児向けの人形劇の動画など、合計１９本作成し、SNSを活用して配信しております。 現在、不特定多数の人が参加するイベントは控えておりますが、夏休みには職員による展示型のイベントを開催いたしました。具体的には、１階多目的室において、開館１周年記念こども未来館まつりで制作した巨大絵本やぬりえ動物（かばやぞうなど）の展示、SNS動画や夏まつりの映像放送、昆虫標本の展示などを行い、来館者に楽しんでもいただき好評を得ております。 今後は、コロナの状況にもよりますが、上記のものを含め、少人数からでもイベント開催を検討してまいりたいと存じます。 また、御質問の目標設定（KPI）については、地域再生計画を提出するに当たり、国と相談しながら決定した経緯がございます。 御指摘のとおり、出生率より子育て世代の女性を増やすこと、女性が住みやすいまちにすることが重要であるものと存じますが、指標設定見直しの御意見については、本事業は、令和元年度で終了しましたことから、本事業に関するKPIの見直しはできません。 頂いた御意見は、今後のこども未来館の事業推進の参考とさせていただきたいと存じます。

交付金の 区分	No	懇談会委員（外部評価者）の交付対象事業への意見・質問欄					担当課	回答
		名称	区分	意見数	番号	意見・質問		
応援税制 （企業版ふるさと 納税）	2	サポート高松トライアスロン大会開催事業	有効と考えた理由	5件	㊸	コロナウィルスのせいで、今後大変だと思うが、何とか続けていけるようにしてほしい。この事業は、ニュース等を見て知っている（認知度が高い）から。	スポーツ振興課	新型コロナウイルス感染症防止のため、今年度は中止となりましたが、頂いた御意見を踏まえ来年以降も事業を継続していけるよう、大会実行委員会と協議を続けてまいります。
					㊹	世界のトップアスリートの参加もあり、身近にトップレベルのスポーツを観戦する機会を提供する事業であり、来場者も増加している。体育施設利用に直接結びついているわけでないと思うが、一層の認知度向上の観点からも大会については継続することが望ましいと考えます。		頂いた御意見を踏まえ、来年以降も事業を継続していけるよう、大会実行委員会と協議を続けてまいります。
					㊺	当初の一般参加部門に加えて、エリート分門を開催するといったように拡大され、また参加者も増加傾向にあるとともに、いろいろな実証実験の場にもなっており、継続することが望まれる。		いただいた御意見を踏まえ来年以降も事業を継続していけるよう、大会実行委員会と協議を続けてまいります。
					㊻	大会開催が主目的であることから、来場者数の伸びが全てであるが、もう一方の指標として、トライアスロン大会の開催によって各種スポーツへの興味拡大、ひいては競技人口の拡大へというのは飛躍しすぎで無理があるように思う。 事業効果として、外国人客の増加により人口減少抑制に資するということを想定しているので、大会期間中の外国人の入り込み客数とかの方がより直接的に関係性を明確にできたのではないかと思う。		目標設定（KPI）については、地域再生計画を提出するに当たり、国と相談しながら決定した経緯がございます。また企業版ふるさと納税に係る本事業は、令和元年度で終了しましたことから、本事業に関する指標の変更はできませんが、頂いた御意見を踏まえ、今後のスポーツ振興課の事業推進の参考とさせていただきたいと存じます。
					㊼	都市型のトライアスロン大会を開催している都市は全国でも少ないため、高松市の知名度向上と交流人口の拡大に非常に効果的だと思います。 特に、以前から実施されている一般参加に加えて、世界のトップアスリートが参加するエリート部門の開催は、海外での高松市の知名度向上と外国人観光客の増加に大いに寄与していると思います。		いただいた御意見を踏まえ来年以降も事業を継続していけるよう、大会実行委員会と協議を続けてまいります。
			有効と考えなかった理由	1件	㊾	再来訪意向割合が、ここ2年下がっている。		R元年のエリート大会におけるエントリー数がH30(予定)に比べて減少した理由といたしましては、中国で開かれたアジアカップ大会と開催日が同日だったことが考えられます。しかしながら、エイジ大会においては外国人参加者は7人から15人へ増加したほか、来場者数も増加しております。
			質問	1件	㊿	宿泊などの経済効果も重要だと思うが、その辺りは把握しているのか。		実行委員会において毎年大会参加者に向けてアンケート調査を行っており、その中で宿泊等について把握しております。
	3	高松産ごじまん品6次産業化等支援事業	有効と考えた理由	3件	㊿	販売額が増えている。今後、後継者の育成にも力を入れて欲しい。コロナのために海外への輸出等が難しくなっていると思うが、早めに今後の販路について、検討して欲しい。	農林水産課	高松市の主力品目の販売額が増加していることから、卸売市場との連携を強化し、確実な販売増に努めてまいりたい。 また、農業次世代人材投資資金等の制度により、高松市内において新規就農者の営農開始も増加していることから、県、JAと連携して、新規就農者の営農をサポートしてまいりたい。
					㊿	農業所得の向上に加え、ブランド化を通じた高松市の認知度向上にも繋がることから、有効な施策であると考える。		引き続き、農業所得の向上及びブランド化を通じた本市の認知度向上に努めてまいりたいと存じます。
					㊿	指標に合理性があり、達成度も十分と考えられる。		引き続き、本市農業の6次産業化や農商工連携を促進し、農産物の高付加価値化とブランド化に努めてまいりたいと存じます。
			有効と考えなかった理由	1件	㊿	このKPIで有効性が把握できると思えない。		目標設定（KPI）については、地域再生計画を提出するに当たり、国と相談しながら決定した経緯がございます。また企業版ふるさと納税に係る本事業は、令和元年度で終了しましたことから、本事業に関する指標の変更はできませんが、頂いた御意見を踏まえ、今後の農林水産課の事業推進の参考とさせていただきたいと存じます。
			質問	2件	㊿	実際にどれだけ売れたのかを把握しているのか？		令和元年度までの3カ年で、12品目を開発しており、昨年度の売り上げは増加していると報告を受けているところです。
					㊿	コロナの影響でイベント、展示会等が開催しにくい中、今後の販路開拓をどのように支援しているのか、対応策を検討されているのであれば、お教えいただきたい。		異常気象など、価格変動の要因が多岐に渡る中で、卸売市場等、従来の販売経路の強化を図るとともに、高松市産の農産物・加工品については、ふるさと納税の返礼品に多く取り上げるなど、PRをしてまいりたい。